

新規就農先輩の軌跡 No.135

<2021 (R3) 1月掲載>

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：河内俊哉 住所：姫路市夢前町寺 年齢：36歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：910a（借地910a）</p> <p>経営内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稲6ha ・ 大豆1ha ・ 飼料作物2ha ・ 露地野菜70a（ジャガイモ、タマネギ、キャベツ） ・ 水稲作業受託（移植、収穫）3ha <p>労働力：本人、妻、雇用（臨時）2名</p> <p>出荷先：個人販売が主。他、ホームセンター、米穀店など</p>  <p>冬期の収入として露地野菜にも取り組んでいる</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>2010年 離職、 雇用就農（地元農業法人）</p> <p>2016年 退社、 独立就農（5haの農地で利用権を設定）</p> <p>2018年 経営面積が9haに増 その後、徐々に面積を増やし、 現在に至る</p>	<p>○良かった点 自分の米を買ってくれて「美味しい」と言ってもらえるのが、嬉しい。</p> <p>○苦労した点 基礎を学んでの就農ではなかったため、この作業は正しいのかわからない時期があり、不安に思った。</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>学生時代から、機械いじりが好きで、近くの農業法人でアルバイトをしていた。車軸機械関係の企業に勤めるが、溶剤等で体調を崩し退職。その後、学生時代のアルバイト先であった農業法人に就職した。</p>	<p>村の役員は受けた方がいい。 集落の中に入っていくことで、いろいろな協力を得ることができます。 地域や農業者同士での“つながり”は大事だと思います。ただし、自分に迷惑が掛からない程度に。</p>